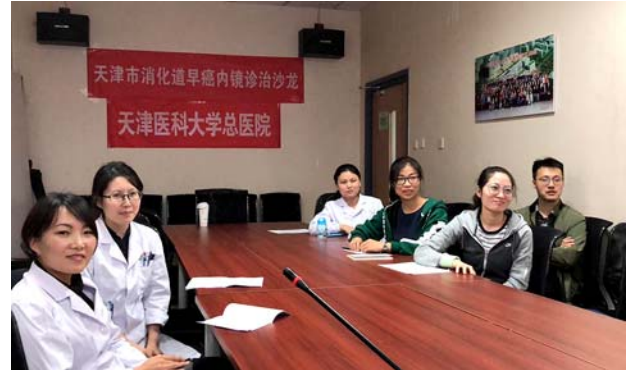


<p>【イベント名】 第28回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス</p>	<p>【概要】 今回は4件の興味深い症例が提示され、参加した内視鏡医と病理医との間で活発なディスカッションが行われた。接続した施設間のネットワークは安定しており、相互のコミュニケーションは全ての過程において順調であった。中国本土では新しい接続施設として山東省立医院が加わった。これにより、この遠隔会議の参加施設は8つに広がった。</p>
<p>【期日】 2018.10.17</p>	
<p>【会場】 北京協和医院（中国）、復旦大学中山病院（中国）、天津医科大学（中国）、南方医科大学 南方医院（中国）、山東省立医院（中国）、順天堂大学（日本）、九州大学病院（日本）</p>	



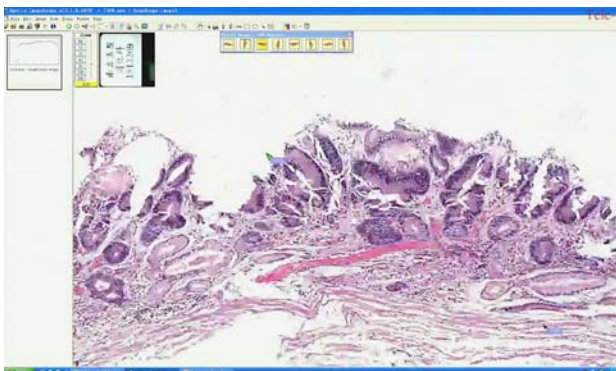
モニターに表示される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



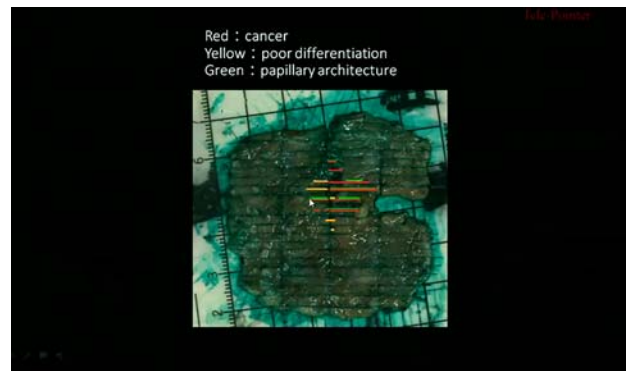
天津医科大学の様子。

撮影場所：天津医科大学



テレポインターを使用した病理画像のディスカッション。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



復旦大学中山病院の様子。

撮影場所：復旦大学中山病院



北京協和医院の様子。

撮影場所：北京協和医院